

新河岸川を歩く番外編(板橋・成増)

日時：平成31年4月19日(金) 8:35

集合場所：武蔵野線新秋津駅

参加者：13名、天候：晴、絶好の日より

見学場所：コース全長約 約3.5km

新秋津駅・・・北朝霞駅⇒朝霞台駅・・・成増駅⇒赤塚氷川神社富士塚⇒赤塚氷川神社⇒板橋郷土資料館⇒赤塚公園(赤塚城本丸跡)⇒不動の滝⇒東京大仏(乗蓮寺)⇒赤塚植物園⇒成増駅・・・大泉学園北口⇒大泉学園駅⇒所沢駅

参加者の方のコメント

東京都の赤塚城で鶯の鳴き声が聞こえるとは思いませんでした。

東京の名湧水57選はいくつか行った所もあるのですが、不動の滝は行っていませんでした。

不動の滝には僅かだが湧水が出ているようなのでうれしく思いました。

「赤坂乳房のいのき」はケヤキですが樹齢1750年と書いてあったのはびっくり！1750年から生えているのなら樹齢270年で納得が行くのですが。

参加者の方のコメント

確かに短いコースでしたが、急に気温が上がったので、体力的には無理しないで、余力を残すくらいで丁度、良かったと思います。

最後の赤塚植物園は小野直美さんのガイドで、初めて見る知る植物が多数で次々と珍しい名前が出てきて、派手な花ではない、可憐な小さい花々をゆっくり観賞できて心が癒されました。

直美さんありがとう。

参加者の方のコメント

板橋区立郷土資料館では可憐なりにんそう、かんあおい、ふたばあおい、などの珍しい花を観賞できましたし、江戸時代後期に建てられたかやぶきの古民家も興味深いものでした。

赤塚植物園ではうぐいすの声を聞きながら、新緑のなかで春を感じて歩きました。

お昼のボリューム満点の美味しいパスタ完食。

ヘルスメータの針は急上昇・・・大変です。

1万3千歩お疲れ様でした。

参加者の方のコメント

東京大仏は建立されて40年余り。鳥の害に会うこともなく春の日射しに輝いていました。

大仏の青年の肌春日差

季語＝春日差

今回で新河岸川シリーズも番外編を最終コースとして一応終了させていただきます。今回は川とは何の関係もない場所をコースに組み込んで、特に前評判の高い東京大仏をメインに選定してみました。このシリーズは如何でしたか、何か希望のコースがあれば是非提案願います。

無事終了で有難うございました。 居田 記



3番目の東京大仏が4番目に降格か

町田さんからメール連絡があり、詳細をブログから抜粋してみました。

その名は鹿屋(ろくや)大仏、大きさは高さ12メートル、横幅11メートルで、台座を含めると18メートル、重さ60トンです。所在場所は東京都西多摩郡日の出町平井の塩澤寶光寺です。

ちなみに東京大仏、高さは基壇が地上2メートル、蓮台2.3メートル、座高8.2メートルの計12.5メートルの青銅製で重さが32トンです。

